

スキルアップコース 統計検定2級(1)

統計検定が
わかる!

統計検定が「展開」「エキスパート」まで広げられることに鑑み、「データサイエンス」に特化した資格試験受験指導を行います。

- ★統計検定2級から準1級までをカバーする講義、今年度全4回のうちの1回目単独の受講も可能です。
- ★データサイエンスの基礎と応用を中心に、統計検定2級レベルの内容を丁寧に解説します
- ★大学基礎統計学の知識と問題解決力を学びます

ガイダンス

WEBガイダンス

録画動画は下記URLよりご覧いただけます。

https://hram.or.jp/business/reskilling/movie/skillup_statistics1_20240311.mp4

ガイダンス資料

https://www.dropbox.com/scl/fi/6y62y6hp02r0v6m8ivcyj/20240525-0601_-__.pdf?rlkey=zz0ds608n08704w0xkrx5iprx&dl=0

概要

練習問題を使った講義指導 2日間

受講形態：オンライン双方向（ZOOMミーティング）

受講申込者の方のみ、3週間限定で録画動画を視聴頂けます。

開講日：〈1日目〉2024年5月25日（土）13：30～16：30

〈2日目〉2024年6月1日（土）13：30～16：30

対象：学生・社会人

受講料：HRAM会員 無料

定員：先着50名



内容

本講義では統計検定2級レベルの記述統計の内容について説明します。

データの視覚化や分析、そして、それらを課題解決につなげるための基本的な考え方を見ていきましょう。スライドによる講義の合間に、理解を深めるための簡単な演習やクイズもあります。

なお、講義資料は事前にデータ配布する予定です。



1級以外の統計検定試験は全てコンピューターを使ったCBT方式が導入され、都合の良い日時、受験会場での受験が可能となり、自身の学習計画が立てやすくなりました。

「統計検定2級」出題範囲表のうち、以下の内容を2回に分けて実施致します。

【シラバス】

- (1) データソース：身近な統計
- (2) データの分布：データの分布の記述
- (3) 1変数データ：中心傾向の指標
散らばりなどの指標
中心と散らばりの活用
- (4) 2変数以上のデータ：散布図と相関
カテゴリカルデータ
- (5) データの活用：単回帰と予測
時系列データの処理



統計検定 2級

【参考資料】

日本統計学会編（2015）改訂版：統計検定2級対応「統計学基礎」/東京図書

【提供方法】

Dropboxフォルダで、動画・資料・メモ等を共有させていただきます。

講師

大阪大学 全学教育推進機構 全学教育企画開発部全学共通教育部門 教授
大阪大学 量子情報・量子生命研究センター（兼任）

田中冬彦 氏

研究分野：統計科学、特にベイズ統計

サポーター：朝倉暢彦（大阪大学）

コーディネータ：鈴木貴（大阪大学、数理人材育成協会）



申込先

受講をご希望の方は <https://hram.or.jp/business/> > リスキリング講座 > スキルアップコース > 「申込」よりお申込み下さい。

受講申込締切： 2024年5月8日(水)

みなさまのご参加をお待ちしております。